長野県言語聴覚士会ニュースレター

Vol.36　2024 年 10 月

ー今回同封の郵送物です。ご確認ください。ー

・本ニュースレター(各会員 1 部)

ー目次ー

・設立記念事業の参加申込みについて・・・2 ページ
・失語症者意思疎通支援事業について・・・3～4 ページ
・職能部コラム・・・5～6 ページ
・学術・生涯学習部からのお知らせ・・・7～8 ページ
・事務局からのお知らせ・・・8～9 ページ
・広報部からのお知らせ・・・10～11 ページ
・研修会のお知らせ・・・11 ページ
・求人情報(鹿教湯病院)・・・12 ページ

設立記念事業の参加申込みについて

会長　寺島さつき

会員のみなさまには業務のお忙しい中、日々県士会にご理解・ご協力をいただき大変感謝しております。記念式典に参加申込みをしてくださった皆様、ありがとうございました。10 月 15 日にて参加受付は終了しましたが、祝賀会を除く記念式典・記念事業については引き続きのご参加を募集しております。

・記念式典／記念事業

期日：2024 年 11 月 17 日(日)　13 時～15 時

場所：上田市　高砂殿

住　所　〒386-0025 上田市天神 2-2-2　　☏　0268-23-1133

※ＪＲ上田駅より徒歩５分。駐車場に限りがあるため、満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。

・記念事業テーマ：長野県言語聴覚士会の「これまで」と「これから」

司会：竹内洋彦（長野医療衛生専門学校）、竹内ちさ子（稲荷山医療福祉センター）

発言者：林耕司（長野医療衛生専門学校）

西條一彦

長谷川和子（上伊那生協病院／yui 訪問看護ステーション）

野沢由紀子（岡谷市ことばの教室）

寺島さつき（信州大学医学部附属病院）

ST の「これまで」を知り、「これから」を考えることで、会としても、個々の ST としても「今」を振り返る良い機会となると思います。
多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

※なお、祝賀会への参加申込みは終了致しました。

記念式典、記念事業への参加を希望される方は、下記までご連絡をお願いします。

県士会事務局：slht.nagano.jimukyoku@gmail.com

失語症者向け意志疎通支援事業について　vol.14

失語症者向け意思疎通支援事業実行委員会　笠原

８月 18 日から失語症者向け意思疎通支援者養成講習会が始まりました。今年度は医療従事者や一般の方含め 13 名が受講されています。そのうち ST の受講者は７名です。年々 ST の受講者が増え心強い限りです。

第１回、第２回は「失語症とは何か」、「意思疎通支援者とは何か、どのような役割を担うのか」、「失語症のある人を支援するためにどのようなコミュニケーションの手段があるのか」などの講義がありました。動画を見たり、演習形式で答えてもらう時間があったり、オンラインではありましたが受講者と双方向のやり取りを行いながらの講義となりました。

第３回の演習は受講者が４グループに分かれ、失語症のある人役の ST とコミュニケーションを取る練習を行いました。第１回、２回はオンラインでの座学だったため、受講者同士で顔を合わせて実習するのは今回が初めてでした。実習の内容は支援者役、失語症のある人役に分かれ、様々なコミュニケーション手段を使いながらロールプレイをしました。最初は緊張していた様子の受講者でしたが、ロールプレイを行うにつれ有効なコミュニケーションの取り方を理解されたようで、講習会終了後には笑顔で帰宅されました。

第４回の身体介助は、講義に加えて実際に装具や車椅子を使用しながら、片麻痺の疑似体験を行ったり、介助者役-患者役で起立や移乗の実践練習がありました。患者役を経験することで、安心感が得られる介助方法や転倒転落リスクの予防法について学ぶことが出来たかと思います。第８回の講習会では外出同行の演習も予定しています。身体介助の講習で得られた手技が活かせるとよいですね。また、第３回の演習では実行委員以外にも中信地区 ST２名の方にもご協力いただきました。ロールプレイで失語症のある人役を担っていただき非常にありがたかったです。今後の演習にも、多くの施設からご協力をいただく予定になっています。

今後のスケジュールは以下の通りです。
・第７回(11/10)：当事者の方との交流会、外出同行支援の演習
・第８回(11/24)：外出同行支援の演習　※実際に外出しての練習です
どのような様子で講習会を行っているのか気になる方はいつでも見学ができます。
見学を希望される方は、各回の１週間前までに下記のメールアドレスへご連絡下さい。
♪引き続き当事業にご協力いただける方も募集しています。興味ある方は下記メールアドレスまでご連絡下さい。

＜失語症者向け意志疎通支援事業実行委員会＞
E-mail：ishisotsu-shien@slht-nagano.org　事務局宛まで

職能部コラム　暑さの中の学校事情　その昔

長野ろう学校　支援部　教育相談専任　中澤洋子

♪誰かさんが、誰かさんが、誰かさんが見つけた。小さい秋、小さい秋、小さい秋、見つけた♪　こんな歌が似合う季節が、いつか本当にやって来るんだろうか。誰にも極小の秋さえ発見困難な、巨大な夏が居座り続けています。ふーっ。はあ。

暑いです。度を超えた暑さが、時期を越えて今だ続いている状況に、このニュースレターが皆様のお手元に届く頃には、少なくとも今ほどの暑さではなくなっているはず、と信じたい今日この頃です。毎日毎日、「今日はいずこの空の下」と自問自答しながら、南は千曲川が「春の小川」のように流れる源流の里、その名も川上村から、北は千曲川が信濃川に変わる栄村まで、どこかの幼稚園、保育園、小学校、中学校、時には高等学校を訪問し、聴覚・言語障害児生やその指導・支援者を対象とした教育相談、関係者会議、支援会議に明け暮れしている私ですが、いずれの空の下も炎天下。園も学校も本当に暑いです。

たまに他の公共施設を訪問することがあると「ここは涼しい」と感じるので、やっぱり園や学校は暑いと思います。この暑さはいつ頃からのことでしょう。「昔はここまで暑くなかったよねえ」とみなさん、恨めしそうにうんざり顔でおっしゃるし、熱中症に対して警戒の必要が声高に叫ばれたり、毎日のように気温の高さがニュースになったりしているので、まだまだ、ありえない、許されざることのように思われ、当たり前のこととして受け入れられない感情があるのでしょう。けれども、学校の暑さは、ここ数年のうちに始まったことではありません。むしろ最近は、学校にもエアコンが設置され、気温が上昇し、そのうちに耐えられない暑さともなれば遠慮がちに使用することが許されているし、夏休みも随分長くなりました。１学級の児童生徒数も随分減りました。

夏の暑さが急に厳しくなったこの数年の間に、ようやく学校にもエアコンが普及しましたが、実はちょっと前まで学校には扇風機もなく、まずこれを児童生徒が学ぶ教室の天井に取り付けるという工事が夏休み中に行われたのは最近のことです。それではとても暑さを凌げないという現実に、市町村によっては首を冷やすタオルが配布されたりもしました。ただこれは、児童の授業への集中を妨げ、管理や扱いに対する指導という新たな仕事を生むというので、教員には不人気でした。

その昔、確かに気温は今より低かったかもしれませんが、学校には扇風機もエアコンもなく、涼をもたらすものは自然の風しかありませんでした。女子がスカートの裾を持ち上げたり下ろしたりしながら、バッサバッサと自分や周囲の友達に風を送ることはもちろんのこと、下敷きを団扇代わりにしてパタパタと煽ることも、先生から咎められていました。

教室には４０人からの児童生徒がひしめき合い、お盆に田舎の実家に帰省した叔父叔母の子ども達＝いとこ達がまだまだ続く８月いっぱいの夏休みを、ためまくった宿題に手を着けることもなく余裕で謳歌している中、お盆明けともなれば、早２学期が始まっていました。

夏休み明けの体育の授業は、早々に水泳から運動会練習に切り替わり、まだまだ水浴びもしシャワーも浴びたい真夏の炎天下、日々藻によって緑色に変わっていくプールをしり目に、焼けつくようなグランドで運動会練習が始まりました。それも種目によっては裸足なので、頭や首は強い夏の日差しに照らされ、足は灼熱の地面でやけどをしそうな状態。

選手は登校時間を早めてリレーの練習。朝の時間は、全校練習。練習をしないのは、つまり体育の授業ではないのは給食の時間だけで、午前は１時間目から４時間目まで、午後は５時間目、６時間目が運動会の練習、リレー選手は業間休みやお昼休みも練習練習でした。グランドと体育館は時間によって使える学年が割り当てられているので、体育館やグランドが使えない時間は、机椅子を教室後方に運んだり廊下に出したりして空間を確保した自分の教室や空き教室、渡り廊下、屋上、使える場所はどこだって所構わず争奪戦状態で先を争って使って、毎日毎時間、運動会練習に取り組みました。

全校種目も学年種目も連学年種目も数が多く一日がかりの運動会だったので、練習もいつも時間が足りない状態。そのうえ、入場行進も、種目ごとの入場も、表現種目での隊形移動でも演技でも、整列でも、一糸乱れぬ統一が求められていたので、全員が動きと場所を覚えて、一人も遅れない、決して乱れない、ピシッと揃うまで繰り返し何度も練習する必要がありました。子ども達も、自分のせいで、もう一回やり直しとなることは、またやらされることよりも、友達から責めのまなざしを送られることの方が辛く、一生懸命です。入場行進の様は、まるでどこかの国のトップの前で軍隊が行進するのに似たクレイジーさでした。

こんなことをカンカン照りの炎天下、乾ききった焼けつくグランドで、土埃を立てながら毎日のようにやっていたのです。驚くべきことに、水を飲むことも、水を飲むと汗をかく、そのことは汗を作ろうとして体に負担をかけることになるからと禁止されていました。子ども達はいつも日焼けと火照りで真っ赤な顔をしており、給食では最大のご馳走、冷たい牛乳を一気飲みし、家庭からは水筒を持たされていないので、休み時間には行列を作って水道の蛇口を口に含み、こぼれる水で顔を冷やしながらがぶ飲みしていました。

教室に入っても、自然の風以外の涼はありません。やっぱり昔も学校は超暑く、超熱かったのです。それでも子ども達は文句一つ言わず、当たり前のように指示に従い、練習に取り組んでいました。涼がとれるものは自然の風と冷たい牛乳しかなかったけれど、昔は日射病と言った、熱中症にかかる子もいませんでした。今となってはクレイジーな教育現場のあり様に、子ども達は身も心もよく耐えていました。気候も変わりましたが、子ども達も変わったように思います。変わらないのは学校という場所の暑さだけ。こう昔を振り返ると、それでも学校は涼しくなったなあ、過ごしやすくなったなあ、別の意味で自然の風が吹くようになったなあと思います。

学術・生涯学習部から冬季の研修会のお知らせ

今年度も残りわずかですが、冬季も複数の研修会等を開催予定です。
皆さん、是非、ご参加ください！！

＜ミニ研修会＞

●隔月の第２木曜日、17：30～（1 時間程度）開催
●Zoom 情報：今年度は、 毎回「同じ ID・パスコード」 となります。

ミーティング ID：876 3162 2824　　パスコード：264954

【第７回】　令和６年 12 月 12 日（木）　テーマ：（仮）「ST の訪問リハビリ」
話題提供・助言者：藤森美恵 氏（飯伊地区フリー）
市川貴康 氏（相澤病院訪問リハビリテーションセンター）
【第８回】　令和７年 ２月 13 日（木）　テーマ：「失語・高次脳機能障害②」を企画中

＜第２回講演会・症例検討会＞

開催日時：令和７年１月２６日（日）午前半日予定
『発語失行のタイプ分類と治療的介入』
高倉祐樹先生（北海道大学大学院保健科学研究院高次脳機能創発研究室）
開催方法：Zoom による Web 開催
申込方法：事前申込制　→　詳細は 12 月 NL に掲載予定です
参 加 費：県士会員は無料、県士会員外は3,000 円(事前振込)
※講演会は[日本言語聴覚士協会生涯学習プログラムポイント取得研修会]申請予定です。
参加された協会員の皆さんは「参加証明書」(参加 1 ポイント)が取得できます。

また、症例検討会の症例発表を募集いたします。講師の高倉先生にもご助言いただく予定ですので、日々の臨床で悩まれているケースがある方はこの機会に是非、ご発表ください。発表された方には日本言語聴覚協会＜基礎プログラム＞修了に必要な「症例発表証明書」を発行いたします。

発表を希望される方は、メール件名に「第２回症例発表希望」とつけて 11 月 30 日までに学術・生涯学習部（slht.nagano.gakukyo@gmail.com）までメールでお申し込みください。

～　多くの皆様のご応募をお待ちしております！！　～

＜第１回講演会および第６回ミニ研修会録画公開について＞

９月２９日開催の「第１回講演会」、１０月１０日開催の「第６回ミニ研修会」に多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。各講師の皆様のご厚意で、開催後の録画と当日資料を県士会 HP＜会員専用＞ページに公開しています。

☞ https://www.slht-nagano.org/member/12799（講演会）
https://www.slht-nagano.org/member/11902（ミニ研修会）

ミニ研修会は過去～第６回まで継続して公開していますが、「第１回講演会」につきましては 11 月末までの限定公開となります。当日、都合がつかず参加を見送られた皆さん、是非、ご視聴ください。

第１回講演会　第６回ミニ研修会

○事務局からのお知らせ

《事務局会員情報管理担当からのお願い・お知らせ》

＜各種届出について＞

入会・変更・休会等をご予定の方は、当該届出書の提出をお願いいたします

第 1 回設立総会でもお知らせしたとおり、法人化に伴い、各種届出の提出（郵送）先が事務局所在地に変更となっております。令和６年２月と４月にお送りした各種届出は「破棄」ください。

各種届出をご提出（郵送）される方は、県士会ホームページ＜当会について＞ページからダウンロードしてご提出（郵送）をお願いいたします。

【ダウンロード先】https://www.slht-nagano.org/about

＜ニュースレター等、県士会からの郵送物配送数について＞

会員所属状況の変動等により県士会からの郵送物配送数に、過不足がありましたら、お手数ですが、下記問い合わせ先までお知らせください。

※配送部数の確認方法：配送時の宛名シールに「（正○）」と配送部数が印字されています

＜会 員 動 向（10 月 10 日現在）＞

※各種届に NL 掲載可と記載された会員の情報のみ掲載しています※

＜休会＞　手塚 茜さん：松本協立病院（中信地区）

《事務局財務担当からのお願い・お知らせ》

令和６年度の年会費を納入していただいた皆さま、ありがとうございます。

10 月８日時点で年会費の納入がお済みでない皆様には、郵送でご連絡をさせていただきましたので、ご確認いただき、年会費の納入およびお振込後に「令和６年度年会費振込報告書」を下記送付先に FAX またはメール添付でご提出くださいますようお願いいたします。

今後も県士会の円滑な運営のため、年会費納入にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【年会費の新しい振込先および年会費金額】

振込先	八十二銀行 飯田駅前支店　店番号 584　普通口座番号 482602 一般社団法人　長野県言語聴覚士会
年会費	正会員：5,000 円

［年会費振込報告書送付・各種届出のご提出・お問い合わせ先］

ご連絡いただく際には担当（財務・会員情報管理）名の明記をお願いいたします

FAX：050-3145-8117
E-mail：slht.nagano.jimukyoku@gmail.com
〒395-0067　飯田市羽場権現 978 - 4　なりわいオフィス飯田　内
一般社団法人　長野県言語聴覚士会　事務局　宛

○広報部よりお知らせ

ホームページ担当より

会員専用ページログインのお知らせ

　会員専用ページログイン ID・パスワードは ID「nagano」、PASS「naganost」となっております。会員様ごとに個々で設定する ID やパスワードではありませんので、ログインされる際には上記 ID・パスワードを入力していただきますようお願いいたします。

求人情報掲載に関するお知らせ

　現在、求人情報の掲載依頼をホームページ・ニュースレター双方にご依頼いただいております。しかし、情報管理の段階でいずれかの掲載が脱落するケースがある状態です。ご寄稿いただいた情報を確実に掲載するために、誠に勝手ながら求人情報に関してはホームページ掲載に一本化させていただきます。会員の皆様におかれましては、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

会報担当より

会報誌の原稿の期日についてのお知らせとお願い

　広報部では会報誌の作成にあたり、会員の皆様からのご寄稿を常時受け付けております。会報誌に掲載したい原稿がある場合には、編集の都合上、2024 年 12 月 23 日月曜日までにご連絡いただきますようお願いいたします。また、「患者様の作品紹介」のコーナーでは、患者様の作品の写真とともに、担当 ST の想いもあわせてご紹介します。作品の写真を掲載させていただける方も募集しております。今回の会報誌は 2025 年 2 月末発刊を予定しております。皆様からのご寄稿は大変励みになりますので、ご応募お待ちしております。

　原稿は「会報誌掲載希望」の件名で、広報部のアドレス：slht.nagano.koho@gmail.com までお送りください。その他、ご不明な点がございましたら、上記の広報部のアドレスにお問い合わせください。

ニュースレター担当より

ニュースレター記事募集についてのお知らせ

　広報部ではニュースレター記事を募集しております。現在、6・8・10・12・2月にニュースレターを発行しています。掲載希望がありましたら、発行月15日までに表題「NL掲載希望」と添えて頂き slht.nagano.koho@gmail.com までメールをお送りください。また、原稿は以下のフォントや情報を参考に作成をお願いいたします。

フォント

文字種：HG 丸ｺﾞｼｯｸM-PRO　文字の大きさ：タイトル 12(太字)

執筆者名・所属・文章：10.5

執筆者について

① 部からのお知らせ：「〇〇部」でお願いいたします。

② 担当者へ集約したいお知らせ：「〇〇部」、「お名前」をお願いいたします。

③ コラム等：「所属」、「お名前」をお願いいたします。

原稿作成の際のイラストや写真の挿入も可能です（編集の都合上、大きさや配置が多少ずれてしまう可能性がありますのでご了承ください）。皆様からのご寄稿をお待ちしております！※タイミングにより次回発行にさせて頂く場合もありますのでご了承ください。

〇研修会のお知らせ

長野県全体構造法研究会（R6 年度第４回）

国立病院機構東長野病院　二木保博

日時：2025 年 1 月 26 日（日）10：00～12：00

開催方法：Zoom を使用

参加費：無料

概要：症例検討を通して、JIST の評価・訓練について理解を深めます。今回は、成人領域（失語症 or 認知症）を取り上げる予定です。

問合せ・参加申し込み：下記アドレスへメールにてお願いします。

futachan.201803@gmail.com（東長野病院二木）

＊原則、長野県内の ST が対象です。小児・成人の領域に関わりなくご参加いただけます。お気軽にご参加いただければ幸いです。

〇求人情報

事業所名	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター　鹿教湯病院
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	https://km-rehacenter.jp/
募集人数	若干名
応募資格	2025 年３月卒業予定者、有資格者
応募方法	事前に電話連絡のうえ人事課まで下記書類を郵送またはご持参ください ＜既卒者＞履歴書、資格免許証（写し） ＜新卒者＞履歴書、卒業見込み証明書、成績証明書 ※履歴書は当院指定の書式をホーページよりダウンロードしてください
選考方法	面接および筆記試験 （詳細については応募書類確定後にご連絡いたします）
施設見学	施設見学は必須といたします。 随時対応しますのでメールにてお申し込みください。 申込先：speech-therapy@kakeyu-hp.com （言語療法科　栗内宛）
給与･待遇	■給与 長野県厚生連給与規定ならびに臨時・パート給与規定により優遇(有資格者経験年数加算あり) ■賞与 年２回(7 月･12 月) ■休日 年間休日 121 日。有給休暇・特別休暇・勤労慰労休暇　等 ■福利厚生 独身寮･職員用アパートあり 院内託児所完備(0～3 才)･二次保育もあります ■保険等 社会保険･健康保険･厚生年金･雇用保険･労災保険
勤務条件	8:30～17:00
応募に関するお問い合わせ･書類提出先	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 〒386-0396 長野県上田市鹿教湯温泉 1308 鹿教湯病院内 TEL0268-44-2111(代)　FAX0268-44-2117 担当:人事課　山浦

SLHT.NAGANO
Speech-Language-Hearing Therapist

長野県言語聴覚士会　ニュースレター　2024 年 10 月
発行：一般社団法人　長野県言語聴覚士会広報部　NL 担当

〒399-6461　長野県塩尻市宗賀 1295
医療法人社団　敬仁会　桔梗ヶ原病院
TEL：0263-54-0012　FAX：0263-51-9315
E-mail：slht.nagano.koho@gmail.com